

令和 2 年 7 月 9 日

健康管理部 保健衛生課

「安全キャビネット」の増設について

1 背景・目的

本市では、食中毒検査に用いる機器を使用して、令和 2 年 3 月 23 日から新型コロナウイルス検査を行っている。本事業では、令和 2 年 5 月 14 日に予備費の充用によりリアルタイム PCR 等一式を購入し、検査能力の向上に取り組んできた。

今後の第 2 波、第 3 波に備え、検査体制を充実させるため、検査設備を増設することにより、検査能力の更なる向上を図り、市民の安心を確保する。

2 事業の概要

(1) 導入する検査設備

安全キャビネット一式

(2) 導入の効果

現在の検査能力が、一日あたり 48 検体から 72 検体に向上

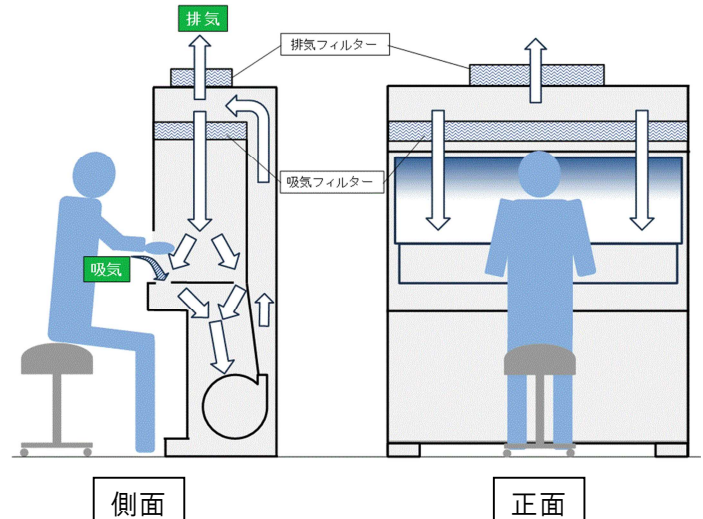


図) ウイルスを含む飛まつ暴露から作業者を保護する安全キャビネットにおける空気の流れ

3 予算額

備品購入費 2,151千円 (財源: 予備費)

(内訳)

安全キャビネット 2,151千円